

ながくみなもとをし 流れを汲んで 源を知る A tree is known by its fruit



ゲームで楽しんだ日本語

4月21日 NKK によって楽しいゲームのセッションが開催された。サラットサミティに、夜6時半に NKK の多くのメンバーが集まった。日本語の先生方も参加されて、ゲームを楽しんだ。最初は「子犬」というゲームで遊ぶ人の聞き取り能力と集中力を試した。その後、私たちは「山手線」というゲームをした。それは手を叩いて、日本料理、場所、動物、花、果物の名前を挙げなければならなかった。私たちは軽食とお茶のあと、最後のゲーム、それは「ものあて」をした。ここで我々は6人の2つのグループに分かれた。両方のチームから一人にもの名前を言い、その人は自分のチームのメンバーに4つのヒントを出してあててもらった。チームのメンバーはその名前を推測して自分のチームのポイントを集めるゲームだった。私たちの多くは新人で経験不足だったので、先生が手伝って下さった。このセッションは8月に開催される印日学生会議の準備で終わった。先生方と一緒に楽しい時間を過ごすことが出来、新しい日本語の単語を学んだりしたので、思い出に残る体験だった。

アルピタ サマダール

日本の便り

「美しいものは永遠にその楽しみを持ち続ける」ージョン・キーツという有名な詩人が書いたこの語句の意味が日本に6か月滞在して、初めてはっきり分かるようになりました。帰国してもう2か月以上たちますが、日本のことや私の二番目の家となった国際センターのことがすごくなつかしいです。日本の美しさは文化や伝統や清潔さや技術のような色々な面で見られます。日本に短い期間でも暮らしたことがあれば、確かに拭い去れないように心に残ります。

私のにとってこの経験は唯一無二のものです。なぜならばこの研修のおかげで、素晴らしい先生方だけではなくて何人かの友人にも会えることができました。しかも、言語の学び方について今まで持っていた視野をもっと広げ

ようになつたら、類のない楽しみを感じられることです。そして、言葉を使って自分の気持ちを伝えられたり、他人のことが理解できたりしなかったら、言語知識はまだ未完成です。ですから、この記事を読んでいる皆さんに一つのお願いがあります。それは、いくら間違っても、なるべく日本語を使うように頑張ってください。日本語の流暢さよりも、日本語を手段としてコミュニケーションを目指してください。それができたら、目的達成です。自分ができることに集中することが一番大事です。なぜかという、言語と言えれば一生続く学習です。つまり、最後に何か得ることがなければなりません！

クシュブ・アガルワル



日本での生活

2018年5月12日クシュブ アガルワル先生は歌舞伎、相撲、流鏝馬、料理、季節、成人大学、100円ショップ、JR など様々な日本の生活について詳しいレクチャーして下さいました。

7月・8月のプログラム

- ◆フレッシュャーズ ウェルカム: 2018年7月25日
参照: ウェブサイト 夜6:00時
- ◆29回目シネマニッポン:
2018年8月3日、4日、5日
ナンダンII ホールで 参照: ウェブサイト
- ◆22回印日学生会議開会式: 2018年8月7日
Dr. トリグナセン ホール ジャダブプール大学
夕方5時半
- ◆書道ワークショップ: 2018年8月10日
ラマクリシュナナンダホール 午後4時
講師 長浜先生
- ◆NKKの創立記念日 親睦会: 2018年8月15日
"Commune" 7B Chowringhee Terrace,
Kolkata -700 020 夕方5時半
- ◆21回日本語クイズ 2018年9月1日
シバナナンダ ホール RKM 午後2時

ウッタラ サーカル 先生とのインタビュー

ウッタラさんは印日文化祭のドラマの練習の時、皆がセリフを覚えるのを手伝ってくれたので何年間も彼女のことを「プロンプターさん」と呼んでいた。ウッタラ サーカル先生は RKM と IJLSS で日本語を教えられている。総領事館の方々とその奥さんにベンガル料理、ベンガル語と英語も教えられた。



インタビューの抜粋：

Q: なぜ日本語ですか。

A: 実は今は亡き父親のケシャブ サーカルは RKM の広報部で働いていました。外国人の学生達、特に多くの日本人が自宅にベンガル文学を習いに来ていました。

彼らは私にきれいなお土産を下さいました。ある時東京外国語大学から日本人の教授と学生たちのグループが来て私に折り紙を少し教えて下さいました。私は 10 歳か 11 歳でその時から私は日本文化に興味を持ち始めました。中学生の時ニワ キョウコさんという日本人がやってきました。彼女は父の授業をノートに何かの絵で書いていたような気がしました。その漢字の絵を見て日本語を学びたいと言ったのでニワさんはご主人に私のために漢字の本を買うように頼みました。

Q: その後日本語を習い始められたのですね。

A: 高等学校修了後、私は 1995 年から RKM で日本語を学び始めました。その後 IJLSS で 2 年間のコースを取りました。ニガム 和子先生は私の先生でした。

Q: 大学卒業後に観光学のコースもされましたね。

A: はい。旅行会社に勤めましたが、そこでは不愉快な経験がたくさんありました。それで 2003 年に退職しました。

Q: そのあと 2006 年にニガム先生にコルカタの Modern High School for Girls で日本語を教えるように頼まれました。

A: 私はとてもびっくりしました。その時まで私に教師ができるということを信じられませんでした。けれども、先生は前向きになるように励まして下さりそこで 6 ヶ月教えました。

Q: その次は？

A: その次は父の日本人の生徒の何人かが私を日本に招待してくださいました。私の旅行のスポンサーになって下さり 2 ヶ月滞在しました。

Q: 日本での経験は？

A: 日本で 10 家族の家にホームステイしました。彼らはとても清潔で勤勉で親切

な人でした。私は日本のいろんな場所 - 高崎、新潟、西の宮などに滞在し何種類もの日本食を食べました。ディズニーランドに行き電動のボートに乗りザーッと水の中に落ちていく写真を撮られました。とても怖かったです。でも後でその写真を見て私は落ち着いた顔をしていましたが、ほかの日本人はそれを見て怖がりしました。

新潟から中崎まで新幹線に乗り窓から美しい景色を楽しみました。私はホームステイのためにある家から別の家に行くのに 7、8 時間も移動しなければなりませんでした。私は彼らのおもてなしを心から楽しみ、また京都の雨季もいい思い出です。水溜りはありませんでした。

Q: 太平洋の海岸にも立たれましたね。

A: はい。私は海水に触れ、「ああ、私は日本の太平洋の海水に足を入れている！」と思いました。どんなに素晴らしい経験でしたか！今でもその気持ちを忘れられません。

コルカタに帰りもう一つの教師になる機会を得ました。AMRI 病院で 2 年間 AMRI の経営人と看護師さんたちに日本語を教え始めました。日本人の患者の通訳もしました。

Q: その後 RKM で教え始められましたね。

A: 2009 年から RKM で日本語を教えていて 2016 年から IJLSS でも教えています。

Q: 教師研修を受ける時の訪日について経験を教えてください。

A: はい。私たちは世界中から来た 50 人の研修生でした。富士山と一緒に観光しそれは夢見るような経験でした。

Q: 歌舞伎も友達と一緒に見られましたね。

A: はい。とても楽しかったです。男性は女性の役を演じます。東京タワーも見ました。研修の間イラン人とタイ人の女性と仲良くなりました。

前ページから続く。。。

Q: 研修の思い出深い経験は？

A: プレゼンテーションのテーマの「あげる・もらう」はとても思い出深いものです。

Q: 趣味は？

A: 料理、読書、絵画、カードの作成、手工芸品の製作。作品の展示会も開きました。私は有名な画家のラマナンダ・バンドパデヤエ氏から小学校3年生から中学校の8年生まで5年間も絵の描き方を学びました。その間いくつかの展覧会にも参加しました。

Q: 学生にアドバイスは？

A: 日本から習ったことを学生に伝えたいです。何でも何度も繰り返して読んでからよく寝て下さい。このようにしたら良く覚えられます。漢字はその絵を通して覚えてください！上手になれば、キャリアの良いチャンスがあります。

アロークバス

JENESYS 2017 プログラムで あった日本生活の経験



まずこのJENESYS 2017プログラムに参加する素晴らしい機会を頂いたことを先生に感謝いたします。インドの第3組を代表する26人の参加者がこの国際交流プログラムに選ばれ、2018年3月19日に東京に行きました。さまざまな文化や日本の最先端の技術を目にしました。東京に到着した日にこのJENESYS 2017の全体的なオリエンテーションに参加し、コーディネーターの基調講演を聴き、皇居、江戸東京博物館、お台場、秋葉原、未来館を訪れました。未来館では世界最先端のヒューマノイドロボット、「ASIMO」で未来を体験しました。ここで子供達がワークショップに参加し、実験を通じて最先端の科学技術を体験していることにおどろきました。

次の日岩手県の久慈市に行くため私達は東

北新幹線に乗りました。この新幹線に乗った経験が一番忘れがたいものです。久慈市はNHKテレビ番組「あまちゃん」の撮影場所として有名です。そこに到着した後、久慈市長はアンバーと海女と闘牛について説明しました。外では雪が降り続いてとても寒くなりました。市長と一緒に昼食をしたあと私達はモングランピアを訪ね、海女のデモンストレーションを見てから政府の石油備蓄施設と地下水族館を見学しました。その場所は2011年の大地震で完全に破壊されたが3年以内に完全に再建されました。翌日私達はアンバー博物館を訪ね、アンバーのまがたまワークショップに参加しました。未使用の木材を効率的に利用してバイオマス発電をしている久慈バイオマスエナジー（株）で化学物質を使用しない大規模なマッシュルームの有機栽培をしているところも見学しました。

Priyankaさん、Varshaさんといっしょに清水家で2泊のホームステイを楽しみました。そこのお母さんは私達のためにいろいろな日本料理を作ってくれました。ホームステイの経験は私達の心にいつまでも温かく残るでしょう。お父さんはショッピングや地方観光のため私達を連れて行ってくれました。二人の娘さん達は私達が着物を着るのを手伝ってくれました。私達は家族のためにインド料理を作りました。私は彼らのおもてなしと親密さを忘れることが出来ません。私達は他のメンバーのホストファミリーと一緒に送別会のパーティを楽しみました。

東京に戻ってこのプログラムの最後の日に満開の桜の花を見られたのは幸運でした。報告会のあと夜の浅草、スカイツリー、東京タワーを見に行きました。JENESYS 2017は私の一生涯の経験であり、日本の科学、技術、ライフスタイル、そして災害から立ち直る能力について知るとても良い機会でした。

パンパ サハロエ



ご結婚
おめでとう
ございます
アヌパムさん
と
ソマスリさん

日本語クロスワード
(7月 - 8月)

1	2	3		4	5
6			7		
8			9	10	
	11	12			
13		14			15
16					

ACROSS

- 1) To clap
- 4) Fire
- 6) Shopping
- 8) Pond
- 9) Viscera
- 11) To be caught
- 14) Famous food of Japan
- 16) Opening ceremony

DOWN

- 1) Expensive
- 2) Confrontation
- 3) Spider
- 5) Dictionary
- 7) Hoped for
- 10) To sell
- 12) Faint/dim
- 13) Deer
- 15) Waterfall

モハシュウエータ バス ムカルジー

(5月-6月)

日本語のクロスワードの答え

1 あ	2 つ	3 か	4 ま	5 し	6 い
7 し	ん	か	ん	せ	ん
	8 ど	く	せ	い	
9 た	く		10 き	か	11 い
か		12 し		13 つ	き
14 い	け	ば	な		る

編集者：トヌスリ チャタルジー・アローク バス 翻訳者：トヌスリ チャタルジー

桜... 日本語会話協会の隔月のニュース レター-

綴り換え-55

下記のボックスに言葉を元の状態に戻し、丸字をつないで答えを見つけましょう。



このことわざはなんですか?

1. さいき (Description, mention)

○ □ □ □

2. がらなかしし(However)

○ ○ □ □ □ □

3. ましいいさ(Brave)

○ □ □ □ □

4. ねんせい(Youth, young man)

○ ○ □ □

シヨントウ デブナート

綴り換えの答え-54

- 1. いっしょ
- 2. すいどう
- 3. かんさつ
- 4. かきかた
- 5. はやくちことば
- 6. みょうじ

い □ つ □ す □ ん □ さ □ き □ は □ や □ み